

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 17-009

PDCA	事務事業名	高齢者能力活用推進事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当	担当	池尻	
					内線等	377	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第2節 地域福祉の推進					
		基本施策： 2. 高齢者福祉					
		単位施策： (2) 高齢者生きがいつくりの推進					
	根拠法令等	個別施策： ①地域社会への参加の促進					
	対象・目的	高齢者等々の雇用の安定等に関する法律					
	目的を達成するための手段・活動内容	「退職後も働きたい」「生涯現役でありたい」と願う高齢者を支援し、働く機会を提供することで高齢者の健康の増進と生きがいつくりを図る。					
		高齢者が豊かな経験や能力を活かすための組織である公益社団法人半田市シルバー人材センターへ補助金を交付することによって、働く意欲をもった高齢者を支援する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①理事会の開催回数	12	12	13	回	
		②就業件数	5,237	4,908	5,038	回	
		③市報への広報記事の掲載回数	4	4	2	件	
		事業費	7,630	7,412	13,224	千円	
		人件費	318	635	625	千円	
		総事業費	7,948	8,047	13,849	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①就業件数1件当たりのコスト	1.5	1.6	2.7	千円	
		②					
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①会員数	実績値	495	482	497	人
			目標値	600	600	550	
②会員の就業件数		実績値	5,237	4,908	5,038	件	
		目標値	5,500	5,600	5,500		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C 半田市シルバー人材センターは、就労意欲のある高齢者にとってもサービスを提供される市民にとっても重要な役割を担っている。今年度は、会員数はわずかに増加し、就業件数も増加した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		会員数・就業件数の拡大などの課題を理事会を通じて具体的な提案等を基に、検討・協議していく。					
	令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
		①会員数				550	人
②会員の就業件数					5,500	件	